

下野市図書館協議会 議事録

審議会等名 令和元年度 下野市第1回図書館協議会
日 時 令和元年5月15日(水) 9時30分から11時10分まで
会 場 下野市役所 2階 203会議室
出席者 有野委員長、青木副委員長、平出委員、晴山委員、下山委員、城鳥委員、高木委員、田中委員、宮川委員、坂口委員

市側出席者 (事務局) 池澤教育長、坪山教育次長、手塚課長、伊澤館長補佐、浅香課長補佐、角田主幹
(指定管理) 倉井石橋図書館総括管理運営責任者、和田石橋図書館管理運営責任者、小畑国分寺図書館管理運営責任者、神野南河内図書館管理運営責任者

公開・非公開の別 (公開 ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴者 なし

報道機関 なし

議事録(概要) 作成年月日 令和元年5月30日

【協議事項等】

- 1 開会<角田主幹>
- 2 委嘱状の交付<池澤教育長>
- 3 あいさつ

<有野委員長>令和元年第1回の図書館協議会となる。先日、吉田東小学校は文部科学大臣賞を受賞し下野新聞に記事が掲載されたということで喜んでいる。我々も読書推進計画を進めているが、今回は形として残り、学校の先生方に感謝している。皆さんに少しでも図書館を利用して読書に親しんでもらうために、協議会委員の皆さんにアイデアを提供してもらい前に進めて行きたい。よろしく願います。

<池澤教育長>下野市においては今年度の4月から小中一貫教育に取り組んでいる。子どもたちに9年間の教育活動の中でしっかりと学ぶ習慣、本を読む習慣を含めて身につけさせたいというところで、今回、吉田東小学校が子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞を受賞したわけです。この賞は県内で吉田東小学校を含め3校が受賞された。吉田東小学校を含め、市内全小学校では朝読を実施しているが、帰宅してからも家族と一緒に本を読みましようということの習慣化を図っている。図書館が指定管理となってからも基幹業務の中に図書館と小中学校をつなぐという事業をメインの一つとしている。その一環の中で家読、これは金曜から日曜まで家族と一緒に30分程度本を読む時間を設ける取り組みである。このような活動が高く評価されているといえる。いずれにしても、日本語がしっかりと読めて書いて自分の言葉で話せなくてはならないと言え、すべての活動の基本にこの読書活動がある。図書館協議会委員の皆さんには、どうぞ今後ともご指導ご助言をいただきたく、また、図書館教育、図書館を通じた生涯学習につきましても、皆さんのお力をお借りできれば大変有難

いと思っています。

4 委員及び職員自己紹介<資料・・出席者名簿>

5 議題

(1) 令和元年度図書館協議会会議のスケジュールについて

【質疑等】

有野委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 資料1 令和元年度図書館協議会会議のスケジュールとなる。今年度は5回の開催を予定している。第1回は本日であり、第2回は7月上旬に本日協議していただいた図書館評価についての報告、公表、また、令和元年度の図書館評価についての評価シート、新しい目標について検討したいと考えている。第3回は10月下旬に令和元年度事業中間報告についてを予定している。第4回は1月中旬に図書館利用者アンケート結果報告について、令和元年度図書館評価についてとなる。第5回は2月下旬に令和元年度実績報告について、令和元年度図書館外部評価について、令和2年度事業計画について、以上を予定している。

有野委員長 事務局案より説明があったが、このスケジュールに沿って進行していきたい。

(2) 平成30年度図書館利用状況について

【質疑等】

有野委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 資料2 平成30年度下野市図書館月別利用状況調べにより説明。

有野委員長 ただ今、事務局より説明があったが、何か質疑等あるか。なければ、次の議題に移る。

(3) 平成30年度図書館外部評価について

【質疑等】

委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 図書館評価をついて。昨年、ABCD評価を協議するにあたり、数が同じであったりCがあった場合にどのように評価するのかという申し合わせを行った。実施方法を改めて記載させていただいた。何か質疑等ありますか。

高木委員 まず、ないと思われるがD評価が出た場合はどのようにするのか。

事務局 今までD評価が出なかったの、今後の課題とさせていただく。

宮川委員 案として良いか。学校などの場合、Aが1点でBが0点、Cが-1点、Dが-2点という形として10点満点としている。5点を超えていればA、5点未満の場合はBというふうに点数で分けられると明確ではないか。

事務局 以前は点数で評価していたが、現在はABCD評価であくまで話し合いの中で決めていきたいと思いますという経緯があった。

有野委員長 D評価が出た場合は今後検討するという事で、結論は後日とする。外部評価集計により評価していきたいと思う。石橋図書館、国分寺図書館、南河内図書館の順に話し合いをしながら外部評価を決定していく。平成30年度外部評価集計により評価について質疑等ないか。この資料は、どこかに提示するのか。

事務局 市ホームページでの公開、また教育委員会、議員全員協議会へ提出します。

(4) 令和元年度事業計画について

有野委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 —令和元年度図書館事業計画により説明—

石橋図書館 —令和元年度図書館事業計画により説明—

国分寺図書館—令和元年度図書館事業計画により説明—

南河内図書館—令和元年度図書館事業計画により説明—

有野委員長 以上、今年度の図書館事業計画について説明をいただいたが、何か質疑等ないか。

高木委員 学校からの団体貸出だが、各小学校保護者というのは、やはり学校からの要請で団体貸出を行っているのは南河内図書館以外はないということか。南河内は学校の保護者から積極的に借りにくるということのほうがっているが他の地域の小学校は例えば図書支援員などが借りに来るということはあるのか。

石橋図書館 はい、あります。

有野委員長 石橋図書館で、こもれば広場にたくさんの遊具が出来て、毎日、たくさん来られていると思うが、それと絡めて図書館として新たな事業などはないか。

石橋図書館 オープン後、新規登録や図書館に来られる利用者の方々も増えている。少し遊び疲れて、絵本の読み聞かせをするコーナーで絵本を読み聞かせをする方も増えたので、そのコーナーで何か図書館のPRを掲示したりなど予定を積極的に実施していけたらと考えている。6月からガチャマシーンを使ったスタンプラリーを予定しており、図書館で本を借りて下さった方へのイベントも考えている。そういった行事で新しい来館者を呼び込めるのではないかと考えている。

倉井総括運営責任者 4月27日にこもれば広場をオープンされて、また、3館では子どもまつりも開催されていたが、石橋図書館は去年の子どもまつりでも多い日に約400名の来館者であったが、今年度の土日は約800名の来館者があった。今後も、お子さんと保護者の方がいかに図書館に来館してカードを作って本を借りていただけるかについて考えていきたい。

有野委員長 非常に良い傾向ですね。今後に期待したいと思う。

池澤教育長 読書計画の中に、幼児期の読書週間の確立を柱の一つとしているので、これは絶好の機会かなと、最初から真面目な顔をして図書館に来るよりは、遊びがてら来館するほうが当然かと思われる。図書館に興味を持たれて、この時期に本に親しむというか読み聞かせなど絶好の機会なので、ぜひ色々なアイデアで取り組んでいただくと有難い。

手塚課長 先ほどの外部評価のところで、石橋図書館においては子どもの読書活動のところはAを、国分寺図書館においては柔軟な運営体制の構築のところでAを、南河内図書館においては学校との連携、家庭での読書活動での支援、柔軟な運営体制の構築ではAをいただいているが、Cという改善が必要であるという評価もいただいているので、できればそのような意見を確認させていただきたい。

有野委員長 C評価について、どのような改善が必要なのかという意見だが。

事務局 C評価については、これからの図書館の運営で改善していくという課題にしている。

倉井総括運営責任者 そのような話し合いをするということであれば、我々は評価される側なので、一旦、退出させていただきたいと思います。

手塚課長 総評はいただいているということですのでよろしいか。

城鳥委員 改善点があった場合、みなさんコメント欄に意見を書いているが、それではだめなのか。

手塚課長 それにつきましても、こちらでは改善が必要ということもあり、確認としました。では、よろしいか。

田中委員 予算の使い方で、もう少しシビアにさせていただきたいと書かせていただいたが障がい者向けの資料はあまり利用されるのか分からないのに、そんなに予算を利用していただきたくないというのが本音である。購入してゴールでは困ると思っている。点字の資料についても、あまり使用されることもないかと思い、逆転の発想で健常者の方に点字とは大変なものだということで使用していただくとか、そうでもしないと使い道がないと思う。購入してしまったものは仕方がないので、そのように有効に使っていただきたい。

城鳥委員 今の資料についてだが、健常者が利用しても楽しめるので、障がい者に限ったものではないと考える。

田中委員 ただ、とても高価かなと思う。

青木委員 広報などのCDの貸出データなどの利用者は増えている。

城鳥委員 そうです。そのような方々にPRしていくことが大切ではないかと思う。やはり、みなさん平等に様々な情報を得られる体制が必要ではないかと思う。

倉井総括運営責任者 図書館の運営方針としましては、まずは知識と情報の充実、利用される方、健常者にしても障がい者にしてもいずれの方にしても平等に図書館を利用していただくということが第一と考えている。書籍の予算については下野市において執行しており指導を受けながら各館の担当が本を選書しております。消耗品としてCDやDVDは各図書館で購入しており、健常者も、今後増えるであろう障がい者も平等に利用することを考えている。それが貸し出しや利用者が少ないということであれば我々がもっとPRをさせていただきたいと考えている。

事務局 図書館基本計画におきましても、誰もが利用しやすい図書館サービスの提供ということで高齢者や障がい者の方々へのサービスの充実を目標として掲げている。

田中委員 そういったことも理解したうえで、サービスが行き過ぎているのではないかと思う。違った工夫で視聴覚障がい者へのサービスも出来ると思うので、そちらの方向へ持って行っていただいて、高価な資料を購入するのは一旦控えていただいても良いのではないか。

事務局 購入しつつPRに努めていくということで、実施していきたいと考えております。

田中委員 ですので、購入は減らしていただいても良いのではないかと思う。

青木委員 大活字本や点字などは、1冊の本が高価です。これを1冊購入すると確かに他の本が2から3冊購入できるかもしれませんが、やはり全く購入しないというよりは購入してこういうものがありますよというPRをしていくほうが大切ではないか。

田中委員 大活字本は私も好きで読んでいる。ニーズのあるものに関しては大丈夫だと思う。ただ、点字やCDについては控えていただきたいと思う。

- 高木委員 高価なものだからこそ購入しているのだと思う。つまり一般の方ではなかなか購入できないので、図書館というのは資料を集めて保存するというのを含めた機関なので、ベストセラーを購入しても良いが、だからこそ、個人で購入できないものを図書館にあるという利用法があると思う。なので、確かに他を圧迫するようではいけないと思うが、それを優先的に健常者のほうへというのは少し発想が違うのではないかな。
- 田中委員 それを健常者の方という風にお話している訳ではないが、もし視聴覚に障がいがある方にCDや点字などのサービスをするのであれば、もっと費用対効果の良い方法があるのではないかなと思う。
- 有野委員長 例えばどのようなことですか。
- 田中委員 社会福祉協議会と直接、連携して、どのようなニーズがあるのかをくみ上げたり、図書館で視聴覚障がい者に何か用意したいのだが、適切なものがあるのではないかなど問い合わせたりとか。
- 青木委員 音訳ボランティアについては、既に社会福祉協議会と連携して補助していただいている。
- 下山委員 それは広報の音訳ですよ。
- 城鳥委員 それと同じように社会福祉協議会のほうへ、こういう資料もありますと提供することも一つのPRだと思う。
- 下山委員 図書館にこのようなものがありますよということを、本当にもっと多くの方に知っていただくことが大切である。子どもの点字絵本も実際に点字が必要な子だけが見るのではなく、健常な子も不自由な人はこういう本を読むんだと知ることとても大切なので、障がい者だけということはないと絵本に限っては思う。
- 田中委員 社会福祉協議会などにどのような資料のニーズがあるのかを聞きながら、相互に図っていくという形が望ましいと思う。
- 高木委員 連携は大切だと思う。どういう資料があるのかPRを含めて、ニーズがあるかを確認することはできると思う。費用対効果というものは大切な部分もあるが逆に図書館は教育施設なので、あまり考えすぎると違う方向に行ってしまうと思う。
- 田中委員 考えすぎていると思われているので。
- 青木委員 では、大活字本、点字など、予算の何割位にすれば良いという具体的な案はお持ちなのか。
- 田中委員 今がどのくらいの数字なのか知らないです。
- 青木委員 障がいを持った方に今年は大活字本11点購入しましたとあるが、何千冊の中の11点である。
- 有野委員長 話がまとまらないので、次回の協議会までに具体的なものがあったら提案してください。次回までに資料などを提出してください。続きまして国分寺図書館のエレベーターの設置だが、作る場所もないということで、それに代わるものとして椅子に乗って2階にあがれるという機械がある。
- 事務局 手塚課長、下山委員には、話してあります。
- 有野委員長 こちらは安い費用で設置可能というものなので、可能であれば設置願いたいと

考えている。

手塚課長 お話はいただいていたが、そういったものにつきましては、図書館の在り方検討を進める中で、話していこうという話をしていた。

有野委員長 それはいつ頃か。この機械設置は話題性もあり、利用者も増えると思う。

手塚課長 椅子型だと一人しか乗っていけないし、車椅子で来られた場合、その車椅子をどうしようかという問題も出てくるのではないか。

有野委員長 大変ですけど車椅子は職員に運んでもらうしかないですね。また、乗り降りも大変だが職員に尽力いただいて。

池澤教育長 前回お答えした通り、公営施設マネジメントといいまして、色々な公の施設の中において完璧な施設はないので、耐用年数が過ぎている施設もたくさんある。それらの施設を全部補修していったならば1千2百億を超えるお金がかかってしまう。その中で、例えば今年は、国分寺庁舎の解体、そのあと、国分寺公民館の大規模改修など予定されている。石橋公民館も利用されるであろう市民の方々から意見をいただいて近々基本設計なども着々と進行している。エレベーターに関しては自治医大駅のエレベーターがあるが一基1億円かかっている。国分寺図書館については署名運動をしていただき市長まで話は行ってますけれども、その前に先ほども話した通り、公営施設マネジメントとして計画的にやらせていただかないと、どの施設も改良されない訳であります。そんな中で実は車椅子を利用している小学生が国分寺東小学校と国分寺小学校におりやはり、階段昇降機という非常に有効なものがあります。ただ今、有野委員長が職員の方にと言われたが、事故でも起きて怪我などされた場合、誰が責任を取るのかとなる。図書館長ですね。図書館長である生涯学習文化課長は3館の責任者になっているので、事故などの場合に関してはこちらがということになる。とすると一基導入するに対して人件費等の特別介助委員も必要となってくるので、申し訳ありませんが、簡単には、導入する訳にはいかない。小学生の場合は、介助職員をつけるが、来年度から会計年度任用職員などの導入で賃金も上がっていくなかで、それにかかる負担等を見ますと、今まで通り国分寺図書館に関しましては、申し訳ありませんが、やはり車椅子で来館された方に対しては、よくレファレンスされて要望をお聞きして対応していただく形での図書館の利用をおすすめするしかない訳です。そんな部分で早急に対応ということではなく、十分に生涯学習文化課長から総合政策課の方の施設関係に関しましては、この協議会の意見は伝えてあるので、また署名もあるので、これは十分に分かっておりますが、直ぐには対応できないということをご理解いただきまして、当然、施設の在り方検討の中には入っておりますので、ご不便をお掛けして申し訳ないのですけれども、どうぞ長い目で見ていただきたいと思います。その代わりとってはなんです、市民の皆さんや子ども達への図書館費に関しましては、今年も削減されていけませんので、潤沢ではありませんが、しっかりとした予算がついております。このエレベーターの件に関しましては即答できませんので、申し訳ありませんが、どうぞよろしく願います。

有野委員長 では、エレベーターの代わるもの。

池澤教育長 代わるものとしてですね、それはありますが、そう簡単には導入できません。

ただ今、申しあげました通り、今、始めて椅子に乗って2階ににあげれる機械の話をお聞きする形になりますけれども、子ども達への導入に関しましては、教育福祉常任委員会において視察し、国分寺東小学校へも行っていただき、どのような状況か委員さんも昇降機に乗って体験して下さっていますので、みなさん、こういうものがあるということをご理解いただいております。今はPRと実体験という段階ではありますが、図書館に関しまして、その方向で課長が意見を受け賜わっている訳ですよね。

手塚課長 パンフレットは見せていただいたが、去年、エレベーターに関しては回答しているので、今年度から図書館の在り方検討を進めていくなかで徐々にとは思っているが即答はできないので、教育長までにはいかないと思っていましたので。

池澤教育長 今、始めて話をお聞きしてお答えしたのですが、もし前もって話を聞いておりましたが、そういう状況になっておりますので。

有野委員長 図書館3館あって2館はエレベーターが付いていて、1館だけが前々から要望があつて情けないと思うが。

池澤教育長 この場でお話する内容ではありませんので、みなさんには、ただ今のようなお答えしかできません。

下山委員 去年の7月に署名を持って行きまして、市長さんから正式に回答を書面でいただきまして、エレベーターの設置については設置場所や事業費が多額なことから至急の対応は困難であるということをご理解いただきたくお願い申し上げますということで、31年度から今後の図書館の在り方検討の中で具体的に検討したいと考えておりますということでした。今後とも私たちはエレベーターを付けてくださいということをやめないで言い続けていきたいと思っている。

池澤教育長 具体的にその会議が、今年度から持たれるということをご理解ください。

有野委員長 エレベーターの設置が無理だということで意見を出したのですが。

池澤教育長 先ほども話した通り、公営施設マネジメントで検討していくということで、長い目で見えていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

有野委員長 他に質疑等ないか。次に進行していきたい。

(5) その他

【質疑等】

有野委員長 事務局説明をお願いします。

事務局 次回開催日だが、7月3日(水)9時30分からでいかがでしょうか。会場はこちらの203会議室で開催いたします。よろしく申し上げます。

有野委員長 以上で議題はすべて終わりました。

6. その他

有野委員長 その他で何か連絡事項等ないか。

事務局 何かありますか。事務局からは特にありません。

7. 閉会

有野委員長 以上で本日の議題、報告事項は終了とする。

事務局 以上をもって、本日の会議を終了とする。